

中学生の福祉教育はすこし大人

ふだんの くらしの しあわせ



地域の方と地元でとれたジビエ料理作りを通じて地域や人を知り、つながりづくりをしました！

こういった交流から、地元を愛する同士が繋がりが、お互いの活動を支え合う関係性へと変わっていききました。今、ボランティア団体「やまびこキッチン」が運営する旧正木保育所には、中学生手作りののぼり旗が立ち、地域の拠点として大切な場所となっています。

「地元が好き」という気持ちがとても伝わってきました。ボランティアさんみんな、賑やかに話しをしていて「地元が好き」という気持ちがとても伝わってきました。ボランティアさんみんな、賑やかに話しをしていて「地元が好き」という気持ちがとても伝わってきました。

サロン×福祉教育パート②

皆様こんにちは。前回に引き続き「サロンと福祉教育」の関わりについて、今回は中学生編をご紹介します。

中学生になると、良い事悪い事の判断が区別できるようになります。そこに、身近な福祉について知識や規則などを勉強することで「福祉」「社会福祉」について学習していきます。

サロン 訪問記

船越ふれあいサロン

コロナ禍でも出来る事を☆



愛南町社協の声
保村 由加里 活動の卵

こんにちは。愛南町社協の保村です。今まで相談の業務が中心でしたが、今年度から地域福祉の事業にも関わらせていただくようになりました。

先日は「地域の担い手養成研修会」の味噌づくりの前日準備として、地域の方、ボランティアの方と一緒に麦洗いをしました。地域の方から作業の手順を教わり、汗だくだくになりながらも楽しく作業を終えました。短い時間でしたが、地域の食文化を伝えることの大切さとともに一緒に作業する楽しさが地域づくりには大切だと感じました。これからも地域の方に教わりながら、地域づくりをしたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



「笑顔」も運ぶテイクアウト弁当の配達♪

6月22日（火）に西海地域船越地区の「船越ふれあいサロン」へおじゃましてきました。新型コロナの影響が広まるまでは、集会所で作品作りや講話、会食など様々な活動をしていましたが、現在は感染症対策をし、集会所で手作り弁当を作り、会員さんが集会所まで受け取りに来て、顔を見ておしゃべりをしたり情報交換をしたりしています。中には、集会所まで来れない会員さんもありますが、配達をして顔を合せていました。

コロナ禍でいつも通りの活動が出来ない中でも、サロンでないと会えない人もいることや顔を合わす機会が無いということで、町内のテイクアウトの企画からヒントを得てサロンを通じてつながりを持ち続けているということを教わりました。

エール！サロンに届け！

いつも、来てくれて、いつも、元気をくれて、いつも、考えてくれて、いつも、教えてくれて、いつも、励ましてくれて、いつも、応援してくれて、いつも、一緒にいてくれて、ありがとうございます。2年ぶりのサロン研修会、たくさんの感謝を皆さんにお届けします。

顔を見ると、元気になれる。そんなサロンの皆さんとの出会いに感謝。



山梨県立大学
高木寛之先生



暑い夏だからこそ！！



一汁三菜で夏バテ防止！

なんだか湿気も多くて、暑くて、だる～くなってきたら
要注意！！

冷たいものを食べる機会も増えてきたら、和食の基本に
戻って「一汁三菜」をおすすめします♪

副菜は佃煮やお漬け物などの市販品、残り1品は、豆腐
や納豆、冷奴、もずくなど、お皿に移し替えるものを取り
入れれば、あっという間に「三菜」が完成します☆



一汁三菜 (いちじゅうさんさい)

○ごはん

(白米以外にも玄米や雑穀米も◎)

○汁物

(味噌汁やすまし汁があてはまり、水分補給の役割も
担ってます)

○主菜

(肉や魚、卵、大豆などが入ったメインのおかずです)

○副菜、副々菜

(野菜を中心にした料理を用意します。豆や海藻類を
使ったものもおすすめ。時間の無い時は、**生野菜**を合
わせたサラダも副菜のひとつになります)



元気な高齢者さんとお話をしていると、共通してみなさんごはんをしっかりと
食べていて、特にお肉を食べているようでした！

ぜひ、サロン会員さんにも「食」について声掛けをしてみてください♪



サロンだより「愛南NOKOTO」は、
愛南町社会福祉協議会ホームページにも掲載しております。
スマートフォンの「バーコードリーダー」で
このQRコードを読み取り接続するとご覧いただけます。

愛南町社会福祉協議会ホームページ
お知らせ画面

<http://ainan-shakyo.lekumo.biz/news/>